

11) Runの長さによる検定に関する数表について.

高島 己子雄

勝間 昭一郎

Non-parametric test の一つに、順列組合せの理論を応用した run による検定がある。

一般にそれぞれ m, n 個の二種類のもの a, b があり、それらを一列にならべた時、 a, b の run の総数を r, s であらわし、その中で長さが $1, 2, \dots, m$ および $1, 2, \dots, n$ であるものをそれぞれ r_1, r_2, \dots, r_m および s_1, s_2, \dots, s_n とする。もちろんここで

$$r = \sum_{i=1}^m i r_i, \quad s = \sum_{j=1}^n j s_j$$

なる関係がある。

Run の総数 $r+s = u$ の分布に関しては F. S. Swed および C. Eisenhart¹⁾ によつて詳細な分布表が作られており、さらに A. Wald および J. Wolfowitz²⁾ によつて u の分布 (漸近分布) が研究されている。以下において、求めたものは run の長さによる検定に関する数表である。

さて、長さ t 以上の a の run がかくとも見つめられる確率 $Q_1(t)$ を求めると、

$Q_1(t)$

$$= 1 - \left\{ \sum' \binom{n+1}{r} \sum_{i=0}^{i^*(r)} (-1)^i \binom{r}{i} \binom{m-i(t-1)-1}{r-1} \right\} / \binom{m+n}{m}$$

となる。ただしここで \sum' は $\frac{m}{t-1} \leq r \leq m$ の範囲の r についての和で、 $i^*(r)$ は不等式

$$0 \leq i \leq r, \quad i \leq \frac{m-r}{t-1}$$

を満足する最大の整数 i で、また $r > n+1$ のときは $\binom{n+1}{r} = 0$ と約束する。全く同様にして (式の形も同様な) 長さ t 以上の b の run が少くとも一つあらわれる確率 $Q_2(t)$ が求められる。

さらに、同様にして、長さ t 以上の a または b の run (したがって a, b 両方でもよい) が少くとも一つあらわれる確率 $Q(t)$ が求められる。すなわち

$$Q(t) = 1 - A / \binom{m+n}{m}$$

ただしここで

$$A = \sum' \sum'' F(r, s) \sum_{i=0}^{i^*(r)} (-1)^i \binom{r}{i} \binom{m-i(t-1)-1}{r-1} \\ \times \sum_{j=0}^{j^*(s)} (-1)^j \binom{s}{j} \binom{n-j(t-1)-1}{s-1}$$

で、 \sum' 、 \sum'' はそれぞれ $\frac{m}{t-1} \leq r \leq m$ 、 $\frac{n}{t-1} \leq s \leq n$ の範囲の r, s についての和で、 $i^*(r)$ 、 $j^*(s)$ はそれぞれ不等式

$$0 \leq i \leq r, \quad i \leq \frac{m-r}{t-1}; \quad 0 \leq j \leq s, \quad j \leq \frac{n-s}{t-1}$$

を満足する最大の整数 i, j で、 $r > n+1$ のときは $\binom{n+1}{r} = 0$ 、 $s > m+1$ のときは $\binom{m+1}{s} = 0$ と規約する。また $F(r, s)$ は、

$$F(r, s) = \begin{cases} 0 & (|r-s| > 1) \\ 1 & (|r-s| = 1) \\ 2 & (r=s) \end{cases}$$

なる函数である。

F. Mosteller は $m=n=5, 10, 15, 20, 25$ の各場合について、 $Q_1(t)$ [$Q_2(t)$] および $Q(t)$ が 0.05 以下になる最小の整数 t (これを $t_{0.05}$ と書くことにする) ならびに 0.01 以下になる最小の整数 t (これを $t_{0.01}$ と書くことにする) を表にしている。⁴⁾

われわれは $1 \leq m \leq 20$, $1 \leq n \leq 20$ の範囲にわたる m, n の組について、上記の $t_{0.05}$ および $t_{0.01}$ を計算した。

ここにかけたものは $Q(t)$ に関するもので、 $Q_1(t)$ [$Q_2(t)$] に関するものは次回に書くことにする。

$t = t_{0.05}$ の表

$n \backslash m$	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1																				
2																				
3																				
4																				
5				5	5															
6			6	6	6	6														
7			7	7	6	6	6													
8			8	8	7	7	7	7												
9			9	8	8	7	7	7	7											
10	10	10	9	8	8	7	7	7	7											
11	11	10	10	9	8	8	8	7	7	7										
12	12	11	10	10	9	9	8	8	8	8	8									
13	13	12	11	10	10	9	9	8	8	8	8	8								
14	14	13	12	11	10	10	9	9	8	8	8	8	8							
15	15	13	12	11	11	10	10	9	9	9	8	8	8	8						
16	16	14	12	12	11	11	10	10	9	9	9	8	8	8	8					
17	17	15	14	13	12	11	11	10	10	9	9	9	9	8	8	8				
18	17	16	14	13	12	12	11	11	10	10	9	9	9	9	9	9	9			
19	18	17	15	14	13	12	12	11	11	10	10	9	9	9	9	9	9	9		
20	19	17	16	15	14	13	12	11	11	10	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9

$t = t_{0.01}$ の表

$n \backslash m$	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
1																				
2																				
3																				
4																				
5																				
6																				
7					7	7	7													
8					8	8	8	8												
9					9	9	8	8	8	8										
10					10	10	9	9	8	8	8									
11					11	10	10	9	9	9	9	9								
12					12	12	11	11	10	10	9	9	9	9						
13					13	13	12	11	11	10	10	9	9	9	9					
14					14	13	13	12	11	11	10	10	10	9	9	9				
15					15	14	13	13	12	11	11	11	10	10	10	10				
16					16	15	14	13	13	12	11	11	11	10	10	10	10			
17					17	16	15	14	13	13	12	12	11	11	10	10	10	10		
18					18	17	15	15	14	13	13	12	12	11	11	11	10	10	10	10
19					19	17	16	15	14	14	13	13	12	12	11	11	11	10	10	10
20					19	18	17	16	15	14	14	13	13	12	12	11	11	11	10	10

脚註

- 1). F.S. Swed and C. Eisenhart, Tables for testing randomness of grouping in a sequence of alternatives, *Ann. Math. Stat.*, XIV (1943).
- 2). A. Wald and J. Wolfowitz, On a test whether two samples are from the same population, *Ann. Math. Stat.*, XI (1940)
- 3) たとえば
S. S. Wilks, *Mathematical Statistics*, Princeton (1943), Chap. X.
成実, 遠藤, 鍋谷, 統計解析の理論 (統計数理講座, 第2巻) (1951)
- 4) F. Mosteller, Note on an application of runs to quality control charts, *Ann. Math. Stat.*, XII (1941).